

事業事前評価表

国際協力機構アフリカ部東部アフリカ第一課

1. 案件名 (国)

国名：ケニア

案件名：ナイロビ西部環状道路建設計画

(The Project for the Construction of Nairobi Western Ring Roads)

2. 事業の背景と必要性

(1) 当該国における運輸セクター（都市道路）の現状と課題

国内最大の都市であるナイロビ市においては、人口増加、交通の増加、環状道路の分断等による非効率な交通システムなどにより、渋滞が深刻化し、経済損失や、大気汚染・騒音等の自動車公害を引き起こしている。現在、ナイロビ市内の移動は渋滞ピーク時には通常の2倍以上も時間を要し、時間・燃料の浪費といった車両運行費用・車両維持費の増加を招いている。ナイロビ市の人口は2025年には現在の300万人から430万人へ増加すると推測され、ナイロビ都市圏の交通渋滞はますます悪化することが予想される。

(2) 当該国における運輸セクター（都市道路）の開発政策と本事業の位置づけ

2008年に発行されたケニアの長期開発計画「Vision2030」は、高い生活水準、国際的な競争力及び経済的繁栄を2030年までに達成することを国家目標としている。同計画では、「経済」、「社会」、「政治」を3本柱とし、「経済成長率10%の維持」、「衛生的かつ安全な環境で人々が住め、平等で、公正、結束力のある社会」、「法に従い、すべてのケニア国民の人権と自由を守る政治の上に成り立つ民主政治のシステム」の実現を掲げている。インフラ開発はその3つの柱を支える基盤の一つとして位置づけられており、道路分野に関しては、道路整備、維持管理能力の向上、都市部の渋滞対策、過積載車両の増加への対策等を含む交通インフラ全般の整備に取り組むこととしている。

(3) 運輸セクター（都市道路）に対する我が国及びJICAの援助方針と実績

2000年に策定されたケニアの国別援助計画では、経済インフラ整備を援助重点分野の一つとしており、輸送インフラ整備を開発課題として掲げている。具体的には、ナイロビ市内の渋滞解消、事故発生率の抑制を目的とした「ナイロビ都市圏交網改善プログラム」を実施しており、同プログラム内でケニア国実施機関の道路維持管理能力の向上のために、技術協力プロジェクト「道路維持管理プロジェクト」（2005～2008年）を実施し、2010年度からは、後続の「道路メンテナンス業務の外部委託化に関する監理能力向上プロジェクト」を開始予定である。また、我が国は、TICADIVにおいて、向こう5年間で370億円のインフラ分野にかかる無償資金協力・技術協力を実施する方針を打ち出しており、本計画は同方針と一致する。

2004～2006年度に実施した開発調査「ナイロビ都市交通網整備計画調査」では、ナイロビ都市圏の交通網の分析が行われ、最も緊急度の高い区間のうち、「ナイロビ西部環状道路建設計画」および「ウゴンゴ道路拡幅計画」については、無償資金協力の候補案件として調査が進められている。本事業は、同M/Pにおいて、中期計画に含まれる案件として記載されており、市内交通渋滞の深刻化等により整備の緊急度が認め

られる区間である。

(4) 他の援助機関の対応

ナイロビ都市圏の道路事業は、世界銀行、EU、アフリカ開発銀行、中国による支援が行われている。

3. 事業概要

(1) 事業の目的（協力プログラムにおける位置づけを含む）

ケニアの首都ナイロビ市において、分断されている未接続道路を整備することにより、物流の中心地であるナイロビ都市圏の渋滞緩和を図る。本計画は対ケニア援助重点分野「経済インフラ整備」、開発課題「輸送インフラ整備」の「ナイロビ都市圏交通網改善プログラム」に位置付けられている。

(2) プロジェクトサイト/対象地域名

ナイロビ市

(3) 事業概要

1) 土木工事、調達機器等の内容

未舗装、行き止まり等により、幹線道路への接続に障害を有する以下の3箇所の未接続道路の整備（舗装、排水設備、照明設備、交通安全設備の整備、小規模橋梁建設を含む）

- ・ 未接続道路3号線（ML3）： Mander Rd ～ Westlands 間（1.76km）
- ・ 未接続道路6号線（ML6）： Ole Dume Rd～Mander Rd 間（2.85km）
- ・ 未接続道路7号線（ML7）： James Gichuru Rd～Ngong Rd 間（3.75km）

2) コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネントの内容

詳細設計、施工監理

(4) 総事業費/概算協力額

総事業費 27.43 億円（概算協力額 日本側：25.43 億円（内、詳細設計 0.36 億円）、ケニア側：2.0 億円）

(5) 事業実施スケジュール（協力期間）

2010年3月～2012年4月を予定。（計26ヶ月。詳細設計・入札期間を含む。）

(6) 事業実施体制（実施機関/カウンターパート）

- 1) 主管官庁：ケニア道路省
- 2) 実施機関：ケニア都市道路公社

(7) 環境社会配慮・貧困削減・社会開発

1) 環境社会配慮

① カテゴリー分類：B

既存道路の拡幅、改善を行う案件であり、重大ではないが、騒音、振動、大気、用地取得等の環境・社会への望ましくない影響が考えられる。

② 影響と緩和・軽減策：

工事中の影響については、国家環境管理庁（NEMA）から承認を得た環境影響評価（EIA）報告書に基づいて適切に緩和策が実施される。住民移転計画（RAP）に基づき、用地取得・構造物の移転及び生計回復支援が進められる。

2) 貧困削減促進：特になし。

3) ジェンダー：特になし。

(8) 他ドナー等との連携・役割分担：特になし。

(9) その他特記事項：特になし。

4. 外部条件・リスクコントロール

(1) 事業実施のための前提条件

特になし。

(2) プロジェクト全体計画達成のための外部条件

ケニア国内の政情・治安が悪化しないこと。

5. 過去の類似案件の評価結果と本事業への教訓

特になし。

6. 評価結果

以下の内容により本案件の妥当性は高く、また有効性が見込まれると判断される。

(1) 妥当性

本事業は2. 事業の背景と必要性で記述のとおり、ケニアのニーズならびに開発政策と十分に合致している。整備対象地区は、多数の車両の往来があるにもかかわらず十分な整備が行われておらず、慢性的な交通渋滞が発生しているため、本事業実施による道路整備の必要性は高い。

(2) 有効性

1) 定量的効果

※ピーク時：朝晩の通勤時間帯

指標	区間（整備距離）	基準値（2009年）	目標値（2012年）【事業完成年】
平均 所要 時間	Gitanga Rd ~ Westlands R/A	オフピーク時：14分 ピーク時：21分	オフピーク時：8分 ピーク時：12分
	James Gichuru Rd ~ Ngong Rd	オフピーク時：13分 ピーク時：23分	オフピーク時：6分 ピーク時：9分

2) 定性的効果

交通環境の改善、交易の活性化、当該地域住民の生活環境改善等。

7. 今後の評価計画

(1) 今後の評価に用いる主な指標

6. (2) 1) のとおり。

(2) 今後の評価のタイミング

事後評価 事業完成3年後

以 上